

こだま Q&A 

Q81

ハチ刺傷患者が次に刺された時、アナフィラキシーショック等になる可能性はありますか。また、症状が出る可能性・重症度を予見できる検査はありますか。

A81

ハチに刺された場合、ハチ特異的 IgE 抗体が陽性かどうか検査します。もし陽性であれば、一般的には陽性者の約20%が再度のハチ刺傷により全身アナフィラキシー反応を発症し、意識消失の可能性は2～3%程度とされています。

また、過去にハチ刺傷によって全身症状が認められた患者では、ハチ再刺傷により約50～60%が前症状より重症化します。

ただし、ハチ特異的 IgE 抗体検査が陰性の場合でもアナフィラキシー反応をおこす場合があります。

この理由として、元来ハチ毒にはヒスタミンやセロトニンなど細胞から細胞へ情報伝達するケミカルメディエーターが存在するため、程度により IgE 抗体を介さずアナフィラキシー反応をおこします。

従って、ハチ特異的 IgE 抗体が陰性であってもアナフィラキシー反応の頻度は低いですが注意しておく必要はあります。

(回答：しんどう皮膚科アレルギー科 院長 信藤 肇 先生)

お問い合わせ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)


きやっちボール

今年も走ります!! 2017年11月3日(祝)開催!! ひろしま国際平和マラソンのチャレンジコース(約10km)に参加します。昨年も参加しましたが、何か目標を持つ事は大切だと思います。トレーニングを開始していますが、今回の目標は完走する事と日頃の運動不足を痛感する事です。参加される方も多いと思いますが、怪我がないように一緒に頑張りましょう。

今回の特集の集配営業係での業務改善の取り組みは、正しい検査結果をお返す大切な取り組みであると改めて実感しました。この感じたことが医療機関様にも伝わり、一緒に温度管理ができればと思います。 中本 啓太 (営業課 集配営業係主任)

<広報委員> 谷敷 圭美 / 橋本 健 / 藤井 ひとみ / 三宅 康雄 / 井上 安奈 / 加藤 与旨多 / 藤本 彩咲日

*本誌はウェブページでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/newsletter>